

# ミツバチ科学索引

## 第19巻(1998)

題名, 執筆者, 頁

大項目は十進分類に準ずる

\*印は重複収録を示す

歴史・文学・社会			
照葉樹林文化の一要素としてのニホンミツバチの養蜂—対馬のハチドウとハチドウガミを事例として—*	山口裕文	129	
医学			
ローヤルゼリーの社会医学的意義*	陳瑞東	23	
ローヤルゼリーに含まれるインスリン様およびアンジオテンシン転換酵素阻害物質について*	奥田拓道・亀田健治・森本千恵 ・松浦幸永・近木麻理子・蔭明	9	
芳香性プロポリスの血圧降下作用*	池野武行・池野久美子	55	
化学			
プロポリスの組成と生理活性に関する物質の構造と活性*	Mario Sergio Palma and Osmar Malaspina	61	
植物学(蜜源植物・花粉を含む)			
東洋蘭—カンラン・シュンラン—へのニホンミツバチの訪花行動*	菅原道夫・筒井克行	81	
ミツバチ属			
ニホンミツバチ—生態とその飼育法 V—*	吉田忠晴	27	
ニホンミツバチの自然群とその生活—大阪府東北部において—*	菅原道夫	37	
東洋蘭—カンラン・シュンラン—へのニホンミツバチの訪花行動	菅原道夫・筒井克行	81	
アジアの新種ミツバチの和名	玉川大学ミツバチ科学研究施設	93	
照葉樹林文化の一要素としてのニホンミツバチの養蜂—対馬のハチドウとハチドウガミを事例として—*	山口裕文	129	
ミツバチ一般(生物学・教育)			
ミツバチ女王蜂にとってのローヤルゼリーの意義*	松香光夫	1	
サイモン・フレーザー大学のミツバチ研究	小野正人	165	
各国(各地)の養蜂			
ドイツの養蜂家に求められるミツバチヘギイタダニの防除—寄生ダニ駆除から総合的ダニ管理へ—*	Otto Boecking	109	
西ネパール, ジュムラにおける農民参加型養蜂普及事業	Naomi M. Saville	121	
照葉樹林文化の一要素としてのニホンミツバチの養蜂—対馬のハチドウとハチドウガミを事例として—*	山口裕文	129	
カナダの養蜂	Gard W. Otis	159	
養蜂一般・蜂群管理			
ニホンミツバチ—生態とその飼育法 V—*	吉田忠晴	27	
ドイツの養蜂家に求められるミツバチヘギイタダニの防除—寄生ダニ駆除から総合的ダニ管理へ—*	Otto Boecking	109	
害敵			
ミツバチの病気とダニの認識*	Hachiro Shimanuki and David A. Knox	99	
ドイツの養蜂家に求められるミツバチヘギイタダニの防除—寄生ダニ駆除から総合的ダニ管理へ—*	Otto Boecking	109	
ミツバチヘギイタダニの遺伝子型の分布について	Lilia I. De Guzman and Thomas E. Rinderer	115	
最近の研究から—透明な人工巣房を使ったミツバチヘギイタダニの行動観察		120	
病気と対策			
ミツバチの病気とダニの認識*	Hachiro Shimanuki and David A. Knox	99	
ミツバチの病気—家畜伝染病予防法の一部改正にともなって	玉川大学ミツバチ科学研究施設	97	
家畜伝染病予防法の一部改正について	大友浩幸	98	
ミツバチアメリカ腐蛆病の試験管内感染試験	迫川朋子・片岡重明・片岡敦子 ・中島千絵・吐山豊秋	145	

<b>ローヤルゼリー</b>		<b>その他</b>				
ミツバチ女王蜂にとってのローヤルゼリーの意義*	松香光夫	1	インターネットのミツバチ その1			
ローヤルゼリーに含まれるインスリン様およびアンジオテンシン転換酵素阻害物質について*	奥田拓道・亀田健治・森本千恵・松浦幸永・近木麻理子・蔣明	9	インターネットへの誘い	中村純	89	
ローヤルゼリータンパク質の特徴と機能	米倉政実	15	インターネットのミツバチ その2	情報はどこにあるのか?	中村純	137
ローヤルゼリーの社会医学的意義*	陳瑞東	23	ライフマスク 1993-1998 —ミツバチの巣を使った作品製作—	清野 泰行	155	
<b>プロポリス</b>			インターネットのミツバチ その3	アピモンディアに参加する	中村純	177
プロポリス研究のこれまでとこれから	松香光夫	49	『ミツバチの知恵』を支える用語	松香光夫・佐々木正己・中村純・小野正人・榎本ひとみ・吉田忠晴・干場英弘・酒井哲夫・吉垣茂	177	
芳香性プロポリスの血圧降下作用*	池野武行・池野久美子	55	<b>時事</b>			
プロポリスの組成と生理活性に關する物質の構造と活性*	Mario Sergio Palma and Osmar Malaspina	61	第35回国際養蜂会議に参加して	井上凱夫・江澤真・中村純	42	
ブラジル産プロポリス—その種類と分布—	Osmar Maspina and Mario Sergio Palma	68	第4回アジア養蜂研究協会大会	吉田忠晴	83	
プロポリスはどこから来るのか	中村純	73	第4回アジア養蜂研究協会大会に参加して	北岡茂男・藤原瑞永	87	
<b>その他の生産物</b>			第20回ミツバチ科学研究会に参加して	鈴木勲	94	
インドネシアのジャワ島東部におけるトウヨウミツバチのハチの子料理	松浦誠	149	展示会「蜂は職人・デザイナー」		95	
蜂ろう入りのクレヨン	後北峰之	173	アピモンディア 国際養蜂会議		169	
			<b>参考図書紹介</b>			
			Morse, R. and K. Flottum (eds) : Honey Bee Pests, Predators, and Diseases Third Edition		143	
			ミツバチ利用の昔と今	松香光夫	189	

## 執筆者索引

図書紹介の筆者は含まれていない

<b>B</b>		片岡 重明	145	<b>R</b>	
Boecking, O.	109	片岡 敦子	145	Rinderer, T. E.	115
<b>C</b>		北岡 茂男	87	<b>S</b>	
近木 麻理子	9	清野 泰行	155	酒井 哲夫	181
陳 瑞東	23	Knox, D. A.	99	迫川 朋子	145
<b>E</b>		<b>M</b>		佐々木正之	181
榎本ひとみ	181	松香 光夫	1, 49, 181	Shimanuki, H.	99
江澤 真	42	松浦 幸永	9	菅原 道夫	37, 38
<b>F</b>		Malaspina, O.	61, 68	鈴木 勲	94
藤原 瑞永	87	松浦 誠	149	Saville, N. M.	121
<b>G</b>		森本 千恵	9	<b>T</b>	
de Guzman, L. I.	115	<b>N</b>		玉川大学ミツバチ科学研究施設	
<b>H</b>		中村 純	42, 73, 89, 137, 177, 181	筒井 克行	81
吐山 豊秋	145	中島千絵	145	<b>U</b>	
干場英弘	181	<b>O</b>		後北峰之	173
<b>I</b>		大友浩幸	98	<b>Y</b>	
池野武行	55	奥田拓道	9	山口裕文	129
池野久美子	55	小野正人	165, 181	米倉政実	15
井上凱夫	42	Otis, G.W.	159	吉田忠晴	27, 83, 181
<b>J</b>		<b>P</b>		吉垣 茂	181
蔣 明	9	Palma, M. S.	61, 68		
<b>K</b>					
亀田健治	9				